

東海村 RPA 導入に関するサウンディング型市場調査結果について

本村では、生産性の向上と労働時間の削減を目的として、行政事務に RPA を導入することを検討しています。そこで、今後の本格導入を効果的なものとするため、令和元年度中に実証実験として一部の行政事務を RPA 化し、その効果検証と本格導入を見据えた運用・体制のあり方を検討していくために、サウンディング調査を実施いたしました。

下記以外にも様々な御意見をいただきましたが、提案に関するものについては事業者の知的財産保護の観点から公表しておりません。

なお、今回公表する内容については、参加事業者からの了解を得ているものです。

1. 実施期間

実施要領の公表 平成31年3月22日(金)

事業者による申込期間 平成31年3月22日(金)～4月18日(木)

対話によるサウンディング実施日 平成31年4月22日, 4月25日

2. 参加事業者数 2社

3. 調査結果の概要

(1) RPA 導入に向けた検討について

- ・検討段階では、職員が RPA に実際に触れて理解を深めてもらったほうがよい。
- ・村の既存システムと RPA ツールが適合するか確認したほうがよい。

(2) 実証実験の支援について

- ・実証実験では業務選定段階からサポートすることが可能である。

(3) RPA 導入に当たっての助言

- ・導入当初は小規模でスタートすることが望ましい。
- ・業務選定が非常に重要であるため、村独自で業務選定を進めるのではなく、事業者の助言を受けながら進めるほうが、結果として時間をロスする恐れがなくなる。
- ・提示されたスケジュールの中に、業務棚卸の期間を設けたほうがよいのではないか。
- ・職員に理解し協力してもらうことが一番重要であるため、目的を共有する機会を設けたほうがよいのではないか。

4. 今後の対応

今回の調査結果を参考に、生産性向上や労働時間削減に向けて、RPAの実証実験や効果的な導入に向けて更なる検討を進めてまいります。